■ABSTRACT OF JAPANESE UNEXAMINED UTILITY MODEL GAZETTE No. 02-88877

A main frame structure of a bulldozer includes a main frame (1) and a cross member (4) (hereinafter referred as to crossbar), the main frame (1) being divided into a pair of front parts (2) and a pair of rear parts (3), the crossbar (4) supporting the equalizer bar (35), which connects the main frame (1) and a truck frame (36) and which oscillates the truck frame (36). The crossbar (4) is attached with the main frame front parts (2) and a bracket (10) for working machine on the front face thereof and is attached with the main frame rear parts (3) on the rear face thereof, each of the main frame rear parts (3) having a bracket (9) for cylinder amounted thereon.

①実用新案出願公開

◎ 公開実用新案公報(U)

平2-88877

⑤Int.Cl. ⁵
B 62 D 21/

識別記号

庁内整理番号

個公開 平成2年(1990)7月13日

7816-3D 7104-2D 7104-2D

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全 4 頁)

会場の名称

ブルドーザの主フレーム構造

②実 顧 昭63-169137

20出 願 昭63(1988)12月28日

向考案者 迎野

雅行

D

石川県小松市符津町ッ23 株式会社小松製作所粟津工場内

切出 願 人 株式会社小松製作所

東京都港区赤坂2丁目3番6号

匈実用新案登録請求の範囲

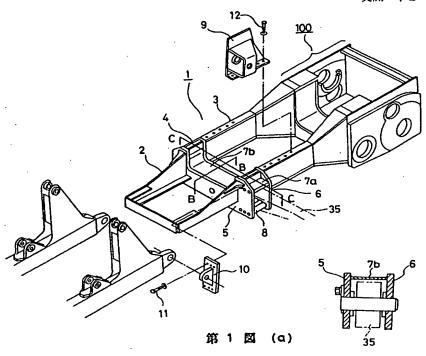
- (1) 一対の前方部と一対の後方部とに分割した主フレーム、及び主フレームとトラックフレームを連結し、トラックフレームのオッシレーション機能を有するイコライザーパーを支持しているクロスメンバー(以下クロスバーと称す)からなり、このクロスバー前面に主フレームと前方部と作業機用プラケットを取付け、後面にシリンダ用プラケットを載置した主フレーム後方部を取付けたことを特徴とするブルドーザの主フレーム構造。
- (2) 一対の主フレーム前方部の幅は一対の主フレーム後方部の幅より狭く取付けてなる請求項1 記載のブルドーザの主フレーム構造。

図面の簡単な説明

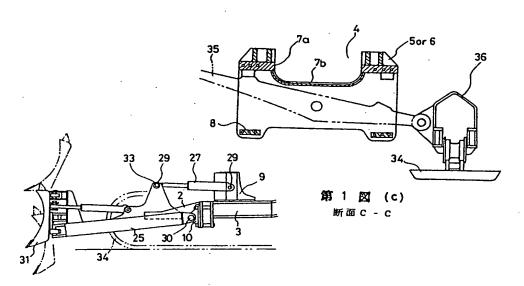
第1図aは本考案実施例の取付状態を示す斜視 図、第1図b及びcは、aのB一B断面及びC一 C断面図、第2図は第1図の作業機フレームと主 フレームの組立状態を示す側面図、第3図は第2 図の平面図、第4図は従来の取付状態を示す斜視 図、第5図は第4図の作業機フレームと主フレームの組立状態を示す側面図、第6図は第5図の平 面図、第7図イ,ロ,ハ,ニは従来のブラケット にかかる力と回転モーメント及び主フレームにか かる捩りモーメント説明図である。

1……主フレーム、2……主フレーム前方部、3……主フレーム後方部、4……クロスパー、5……クロスパー前面板、6……クロスパー接合部材、9……シリンダ用プラケット、10……作業機用プラケット、11,12……ポルト、25……作業機フレーム、27……シリンダ、29,30……ピン、33……作業機ルームのシリンダ装着支点、34……トラックシュー、35……イコライザパー、36……トラックフレーム、A……主フレーム前方部の幅、B……主フレーム後方部の幅、a,a1……オーバハング量(主フレーム中心と荷重点の偏心量)。

実開 平2-88877(2)



第 1 図 (b) 断面 B - B



第 2 図

実開 平2-88877(3)

